

第56回南木倶楽部全国勉強会(第141回大阪読書研究会) 南木隆治(みなきたかはる)

情況と本質 『近未来—日本の可能性』～現下の状況と我が国の目覚め～

A 開会の前に。プレゼント。カレンダー、他。

B 河村保美子さん(2月24日)大宅由人君(2月28日)ご命日です。お花をお送りしてあります。黙禱。
(河村様へは、「学ぼう会北摂」澤田裕仁氏代表と、南木倶楽部、連名でお送りしてあります。

御主人の河村幸八様から、皆様によろしくと、お礼の電話をいただきました。)

ウクライナでロシアからの攻撃、祖国防衛の戦闘で亡くなる方々へ。連帯と、黙禱。

C「今年は昨年より、激動になる。経済も、政治も、軍事も」と先日岡山で話したばかりですが、もう始まりました。チャイナはパラリンピックの間は戦争を始めないと思うので、その間に我が国は、戦争に備えねばなりません。『チャイナ艦隊撃滅』を海上自衛隊は、準備して下さるでしょう。海上自衛隊、米国海軍の展開次第で、チャイナは開戦を躊躇する。バイデン政権での開戦は不安がいっぱい。

(以下、やや、皮肉っぽく書いているところがあるので、誤解せず、お読みいただきたい。)

①繰り返し言っているように、現在は『世界戦国時代』であり、誰が「徳川家康」になるかは決まっていない。これを基本認識にしなければならない。日本人はもう目覚めるべき。

②天長節2月23日の翌日の、24日に、ロシアがウクライナに侵攻し、一挙に国際情勢は激動期に入った。

これは長期的は、我が国が、かじ取りをしっかりすれば、我が国にとって、何か悪い流れが始まったという事ではない。ウクライナの人々は本当に気の毒。ソ連崩壊時にアメリカがした約束(ウクライナの領土保存)によって、核武装を解き、兵力を大幅削減して、日本以上の非武装国家になった顛末がこれだ。グレンコ・アンドリー、ナザレンコ・アンドリー、両氏のいう事は正しかった。

③「ウクライナ」は、わが国の目覚めに為に犠牲になってくださっている。

【ブダペスト合意】「ウクライナ」の人々の悔しさに思いをいたさねばならない。その悔しきは日本の比ではないはず。アメリカの不誠実。(1994年にロシアと米英が署名した「ブダペスト合意」を信じて、ウクライナが国内にあった核兵器を放棄する代わりに、同国の主権を尊重し、武力攻撃や威嚇をしないと定めた合意を受け入れた事。ロシアにとって国際的な合意や約束は紙くず。昔も今も)。なぜ、「ワリヤーク」をチャイナなんか売ったんだ? なぜ核放棄した?

「北朝鮮」は、早く我が国が目覚めることを願って、ミサイルを撃ってくれている。我が国が強国になってくれないので、拉致被害者をいまだに返せない。平和条約を結べる状態になっていない。早く核武装してくれと思っている。

日本が核武装してあげなければ、北が核を持ったままの半島統一は国際的に許されるはずがない。

北朝鮮は、我が国が核武装するように、核武装してくれたのだと思っても良い。

④バイデンのせいで、アメリカの威信はもう地に落ちた。日米安保は発動するのかと、多くの日本人が不安になる。一刻も早く、核シェアリング、核武装への道を開くべき。アメリカがチャイナ共産党崩壊よりも先に、内的に崩れたら、日本は間違いなくウクライナと同じになる。その前に核武装しなければならない。H2ロケットのブースターを使えば、すぐに大陸間弾道弾は作れる。新型トマホークだって、潜水艦発射ミサイルだって、その気になればすぐにできる。

⑤ゼレンスキー大統領、「国防動員法」を発動した限り、多くの市民も市街戦で死ぬ。自身も死ななければならない。(日本人だったら死ぬ)今後の展開。ゼレンスキーが捕虜になったら、すぐに親露軍事政権ができる。停戦協定を結んでも結果は同じ。「ウクライナのNATO不参加と、中立」が宣言される。ウクライナの人々が、ゼレンスキー失脚後、どれだけゲリラ戦を戦い抜けるかで、かなり今後の展開は変わる。今回の「戦争」何もなかったという振出しに戻りたとしても、NATOが解散しない限り、緊張は終わらず、日本がよって立つ戦後世界秩序はすべて終わったのだと覚悟しなければならない。一刻も早い『再軍備』を!。気の毒だけれど、ウクライナの人々が頑張れば、3か月もロシアは経済が持たない。ロシアだけだったら、引き上げるしかない。

⑥ところで、習近平たちの行方は数週間不明。ロシアと、打ち合わせ済みの可能性あり。プーチンとの密約があるかも。【悪夢】ドニエプル川の東西で、二つの国家に分かれ、新冷戦を、「露中同盟」で考え始めているのじゃないか。

『武漢ウイルスについて』

⑦「オミクロン株」の毒性が低く、重症化の可能性が低い。ワクチンより、オミクロンに感染した方が良いかも。「武漢コロナウイルス」「世界的ワクチン熱狂」2回接種者がオミクロンに感染？。今度は「ブースター」。若者、子供はウイルスより、ワクチンの副作用の方が大きい。状況は何か世界的に「正気」でない気がする。

A 【精神と世界】 現在、世界戦国時代が進行中。どの国「超限戦」進行中。どんな小さな動きも、激変期には大きな作用を及ぼす。我々個人が何を考えるかが重要。『フジ住宅裁判』、『ブルーリボン訴訟』もその一環。 高市一トランプになるべし。「スパイ防止法」、憲法の「緊急事態条項」至急必要。「コロナ」「ウクライナ」を奇貨として、「戦時」に対応できる法制を。



マトリックスを超えた、考えた瞬間にプログラムされている世界を想定しよう。

B 『愛知トリエンナーレの天皇陛下へのヘイト行為を許さない会』第1回訴訟期日は、まだ決まらず。(1月11日予定でしたが、津田大介氏が東京への「移送」を今頃求めてきたため。「大阪の主婦3人」がしばしば東京まで行けるわけがなく、必ず大阪でやります。

ユーチューバー「改憲君」動画 →

[【昭和天皇肖像画 | 三上悠亜】大村秀章、津田大介が「あいちトリエンナーレ・表現の不自由展」の件で提訴される など - YouTube](#)

原告はナニワを代表する3人の「主婦」。山口さん、吉田さん、大東さん。

提訴と同時に、「大阪市ヘイトスピーチ規制条例」に基づく「ヘイト認定」を申請しました。要件を満たさないと門前払いしてきましたが、山口さんが再度申請中。大阪市の条例には、国籍条項がなく、天皇陛下へのヘイト行為は、直ちに全国民へのヘイト行為であると認めてくださいという申請です。大阪でも『不自由展』をされてしまったことが、提訴を決定しました。

C 戦前の各種書籍について。

D 「イベルメクチン」は、海外から自由にも買える。日本人の「ファクターX」理化学研究所が発見。

E 少し先のこととなり、西暦2040年、私は80歳代後半だが、その時までには我々は日本を完全に再興し、『紀元2700年祭』を盛大に挙行せねばならない。(昭和15年、1940年。『紀元2600年祭』が、盛大に行われ、その時、現在の『橿原神宮』が整備された。この時も5年前から大変な準備をした。

F 『ポリコレの正体』 米国内の政治情勢。「内乱」の危機は続く。ユーチューバー『我那覇真子』を参照してください。「私はshe/herです。」と、胸にワッペンをつけているスーパー店員の紹介。オハイオ州。

G 各地議会で『拉致問題啓発に関する決議』維新も、自民も関係ない。

『ブルーリボン訴訟』一審裁判中に、決議を上げてくださり、有難い。国会でも決議が通った。

H 繰り返すが、アメリカ海軍の「核シェアリング」が我が国には、死活的に必要。政治家はここを頑張る欲しい。せめてNATO諸国並にならねば。なお、非核3原則のまま核シェアリングは可能。ここが南木案の優れているところ。アメリカが乗ってこないのだったら、英国海軍に我が国の最新潜水艦を売却して、核ミサイルか、超音速トマホークを搭載できるように改装し、日英同盟を結んで、南シナ海に、英国に属する潜水艦に常駐してもらっても良い。その全費用を我が国が持つとすれば、英国は喜んで乗ってくる。日英同盟復活は歴史の必然。

I これも繰り返すが、チャイナ共産党崩壊後、国連常任理事国にチャイナの後継国家が就任する事は絶対阻止。次の東アジアの常任理事国は我が国でなければならない。

J アメリカの『因果応報』はこれから。地霊。カリフォルニア。多言語。「銃、病原菌、鉄」。

K 次回『ブルーリボン訴訟』第6回期日は令和4年6月10日(金)。(以上)

(参考図書は別紙)

